

中小企業サポートかながわ

ファイナリスト10名の

サポ
かな

第287号 2025年3月5日発行

3



熱い思い



かながわビジネスオーディション2025

最終審査会



かながわビジネス オーディション2025 最終審査会 結果発表!

かながわビジネスオーディションでは、起業家や新たな事業分野への進出に挑戦する中小企業などから、神奈川県発のニュービジネスとしてふさわしいビジネスプランを募集し、優秀なものについて表彰しています。129件の応募の中から選ばれたファイナリスト10名が、2月6日(木)にパシフィコ横浜にて開催された最終審査会でプレゼンテーションを行いました。



神奈川県知事賞 (最優秀賞)	株式会社VISION IV
優秀賞	株式会社KAMAMESHI
	株式会社LEAN
特別賞	Seaside Robotics
	モビスペース株式会社
KISTEC賞	株式会社VISION IV
神奈川県信用保証協会賞	Seaside Robotics
神奈川県産業振興センター賞	株式会社ビートパップ
神奈川県ニュービジネス協議会賞	株式会社VISION IV
KSP賞	モビスペース株式会社
JEA賞	株式会社LEAN
神奈川県情報サービス産業協会賞	株式会社ドゥーイノベーション
神奈川県中小企業診断協会賞	チームフランボネ
日本技術士会神奈川県支部賞	株式会社VISION IV
MINERVA賞	株式会社KAMAMESHI
きらぼし銀行賞	モビスペース株式会社
日本弁理士会関東会会長賞	株式会社ぐるり
日本経営士会賞	株式会社きづなる
はまぎん賞	株式会社VISION IV



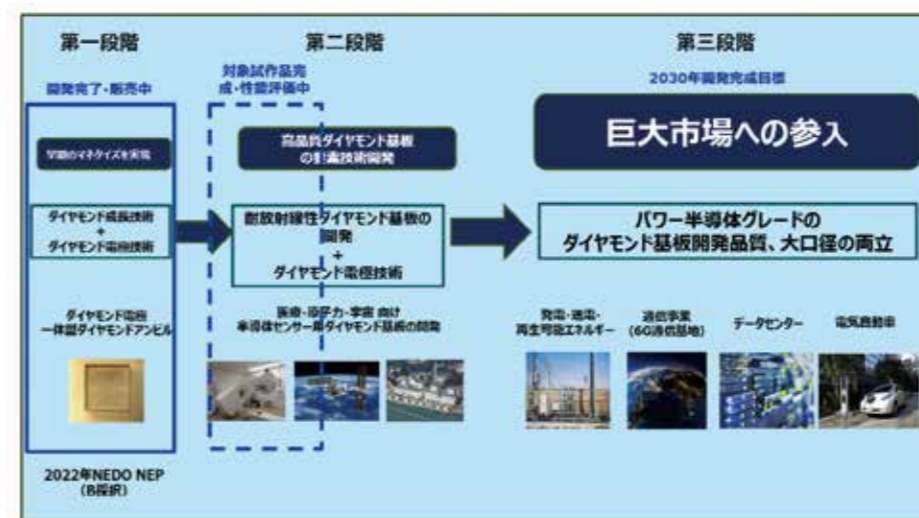
かながわビジネスオーディション2025 神奈川県知事賞 (最優秀賞)

VISION IV

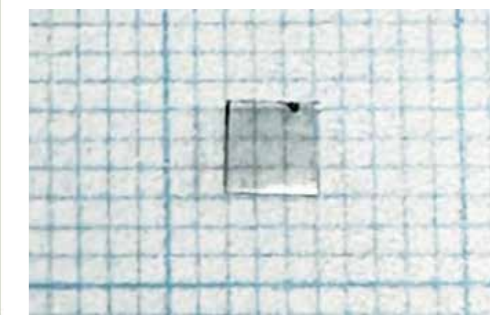
～ダイヤモンド基板開発を通じてパワー半導体で
世界のエネルギー問題に貢献する～

「半導体大国としての日本の将来に、ダイヤモンドで貢献する」を掲げこれまでやってきました。今までなかなか理解されないこともありましたが、今回このような大きな賞をいただいたこと、驚きと共に本当にうれしく思っています。日本の半導体メーカーを世界で勝たせる戦略物資となるこのダイヤモンド素材を、神奈川はもちろん日本のために、全身全霊で広めていきたいと思っています。(代表取締役 小関 智昭)

2021年3月に会社を設立。ダイヤモンドおよびその応用製品の研究開発、製造、販売を主たる事業とする。超高硬度ダイヤモンド電極の事業化を足掛かりに、半導体用ダイヤモンド基板の結晶成長技術の獲得に成功。半導体用ダイヤモンド基板開発を通じて、パワー半導体で世界のエネルギー問題に貢献すべく、合成ダイヤモンドの量産化を目指している。



量産化へ向けた開発計画。現在、第二段階 試作品完成・性能評価中。



ダイヤモンド基板の試作品 (第一号)

半導体大国としての日本の将来にダイヤモンドで貢献します

事業実現
サポーター
より

ダイヤモンド半導体のプレゼン資料を初めて読んだとき、用語が難しくすぎて理解できませんでした。「中学生が分かるレベルまで分かりやすくする」をゴールに、オーディションまでの半年間、小関さんが真摯に取り組まれた結果だと思えます。おめでとうございます!

会社概要
株式会社VISION IV (ビジョンフォー)
代表取締役: 小関 智昭
所在地: 横浜市鶴見区小野町75-1
リーディングベンチャープラザ
1号館301号室

かながわビジネスオーディション実行委員会事務局 (創業新事業課内)
TEL 045 (633) 5203 E-mail: b-audition@kipc.or.jp

テクニカルショー ヨコハマ 2025

第46回 工業技術見本市

技術を創る 未来を創る

「テクニカルショーヨコハマ2025」を
開催しました!!

開催実績

2月5日(水)～7日(金)

10時～17時

出展者数：810社・団体 644小間

3日間の来場者数17,602名と多くのご来場をいただき、活気にあふれた大変盛況な開催となりました。多くのご出展、ご来場、ご協力に心より感謝申し上げます。展示以外にも今回の特徴として

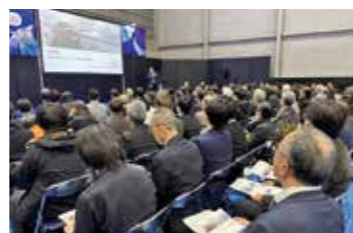
- 18社・団体の協力による主催者特別展示コーナーを設置
 - 主催者・併催セミナーを19セッション開催
 - 出展者セミナーを42セッション開催
- と多くの併催イベントを開催しました。



主催者特別展示コーナー



出展者セミナー会場



展示会場内セミナー会場

次回開催のご案内

第47回工業技術見本市 テクニカルショーヨコハマ2026

皆さまのご出展・ご来場を心よりお待ちしております。

開催概要▶ 会期：2026年2月4日(水)～6日(金)
会場：パシフィコ横浜 展示ホールA・B・C
開催規模(2025開催実績)：810社・団体644小間
来場者数(2025開催実績)：17,602名

詳細はホームページへ <https://www.tech-yokohama.jp/>



会場風景

当日の様子



主催者特別展示コーナーでは、宇宙関連、モビリティ関連、生成AI関連など、最新の技術や製品が展示され、多くの人でにぎわっていました。空飛ぶクルマに試乗された方は、「思ったよりも形になっていて驚きました。災害支援にも役立ちそう!」と笑顔を見せていました。

また、生成AI活用体験コーナーでは、「ここまでできるんだ!自社の業務にも取り入れたい」というお声がありました。



アネックスホールにて同時開催された「受・発注商談会 in 横浜2025」では、熱い商談が行われました。



車体のイラストは大学生が描いたそうです。担当者の方は、「若い人のデザインに触れることで価値観や視野が広がりました」と手ごたえを語ってくれました。

他の業界の方に出会うことで、別の事業にも応用できないか可能性を探るべく出展しました。来場者の方からいただいた言葉を来年に生かしたいです。



企業

出展者の声



企業

今年で5回目の出展ですが、やっぱり楽しいです。個人のお客さまや、今まで関わってこなかった業界の方から連絡をいただくことも増えました。予想外の新たな発見があったり、他の出展企業の展示の見せ方も参考になります。

実際に機械が動いているところを見て、デザインなどを勉強するために来場しました。さまざまな地域の企業が集まっていて、普段自分の足だけでは見に行くことのできない企業を見られて良かったです。



企業

来場者の声



学生

「ものづくりって何?」って思っていたのですが、実際に説明を聞いてみて、自分の中でのハードルが下がりました。ものづくりが身近に感じました!

テクニカルショーヨコハマ事務局より

「テクニカルショーヨコハマ2025」が盛況に開催できましたのも、ひとえに多くの来場者の皆さまをはじめ、出展者の皆さまのご協力あってのことと存じます。皆さまのご出展、ご来場、ご協力に心より感謝申し上げます。これから次回開催に向けて、より一層精進してまいります。

テクニカルショーヨコハマ事務局 TEL 045 (633) 5170 E-mail: info@tech-yokohama.jp



KIP支援事例のご紹介



神奈川県よろず支援拠点

「よろず支援拠点」は、国が全国に設置している無料の経営相談所です。創業や売り上げ拡大、経営改善など経営上のあらゆるお悩みの相談に対応しています。今回は神奈川県よろず支援拠点をご利用いただいた多くの事業者の中から、1つの事例をご紹介します。

かながわビジネスオーデションに挑戦、父の遺志を継ぎたった1人で事業化を実現

1 相談のきっかけ

遺志を継いで承継したものの、事業の進め方に悩み相談に

オゾン層破壊という環境への問題意識から有害物質の排出をゼロにする完全密閉システム洗浄装置の開発に成功し、その開発販売会社を運営していた先代が急逝。2020年に長女である現代表の椎名氏は、全く畑違いの分野から先代の遺志を継ごうと事業承継。先代の残した膨大な技術資料を読み解き、技術は理解できた。より多くの企業で当社の技術を活用してもらいたい。どのように事業を進めていけば良いのかと悩み、当拠点に相談に訪れた。

会社概要

株式会社ケンテック
 代表取締役：椎名 貴子
 主要事業：高濃度ガス回収機能付き溶解・除去装置の設計～販売、特殊洗浄装置（難洗浄対応技術）、洗浄テスト・残渣解析、プロセス技術の供与
 所在地：大和市つきみ野1-6-88
<https://www.kentec-pcs.jp/>



2 課題

環境問題を解決する装置の事業化を実現できる体制づくり

「中小企業優秀技術・新製品賞優秀賞」を獲得した技術により大手企業向けに特注製品を開発してきた。技術・ノウハウは十分蓄積されている。しかし、より多くの企業で活用してもらうためには、洗浄ニーズを集約した汎用的なモデルを開発し提供する必要がある。相談者が、新製品開発から製造、販売までの全てをたった1人で運営していくことは難しい。新製品開発を実現するための体制づくり、洗浄ニーズを持つ顧客との接点づくりなど行うべきことは山積している。相談者の熱い思いを実現するために、開発、製造、販売といった実務面の支援者、パートナーを獲得し事業推進体制を組み立てる必要があった。また、顧客も獲得する必要があった。

3 支援内容

かながわビジネスオーデション挑戦を支援し、継続的に業務進行を支援

当社の認知を拡大するとともに、顧客、支援者、パートナーとの接点を持つ方法として、「かながわビジネスオーデション2023」への挑戦、展示会出展をコーディネーターから提案した。応募にあたっては、創業理念、相談者の思い、事業構想を整理する支援を行った。ファイナリストに残り、新技術の社会的貢献度と魅力的なビジネスが評価され「KISTEC（神奈川県立産業技術総合研究所）賞」を受賞した。オーデションと同時開催の展示会「テクニカルショウヨコハマ2023」の「よろず支援拠点」ブースにも出展し、ビジネスプランや当社技術は注目を集めた。当社が人的ネットワークを拡大する絶好の機会となった。

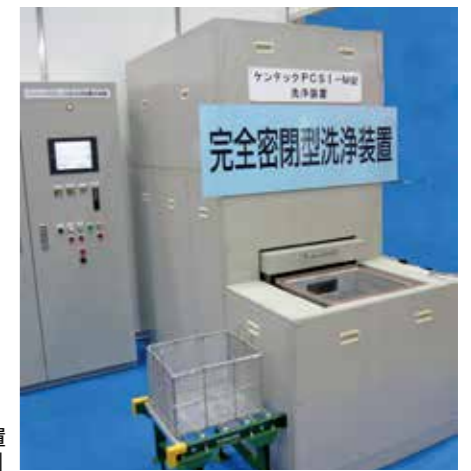
事業推進体制に関しては、KISTEC（神奈川県立産業技術総合研究所）や神奈川県知財総合支援窓口とも連携して事業進行の停滞が起きないように継続的に支援を行った。

4 支援の成果

ネットワークが広がり事業推進体制を構築でき、新規製品の受注を獲得

「かながわビジネスオーデション2023」、「テクニカルショウヨコハマ2023」を通じてネットワークが拡大し、開発設計の支援者、製造のパートナー、販売のパートナーを得て、事業推進体制を構築することができた。当社完全密閉型洗浄システムの優位性への理解も広がり、新規製品受注も継続的に入るようになった。

現在は、より多くの企業ニーズに応える汎用モデルを洗浄力と環境対応の両立に困っている多くの企業に提供する計画を進めている。



開発した完全密閉型洗浄装置
 「PCS（パーフェクト・クローズド・システム）」

5 支援のポイント

- ビジネスオーデションへの挑戦を通じて、相談者の構想が見える化
- ビジネスオーデションや展示会を通じて、課題であった体制づくりを実現
- 経営上で生じるさまざまな問題は都度サポートを実施



6 相談者の声

どのように事業を進めていったら良いのか悩んでいた時に、よろず支援拠点に巡り合って本当に良かったと思っています。コーディネーターから勧められた「かながわビジネスオーデション2023」への挑戦は光明となりました。受賞により多くの支援者やパートナーを得られ、事業を前進させることができました。今も困ったことがあると相談に乗ってもらっています。



かながわビジネスオーデション2023の様子

神奈川県よろず支援拠点

TEL 045(633)5071 E-mail: yorozu@kipc.or.jp

KIPワンストップ相談員が解説します！

3月決算法人における 決算対策



相談員
税理士 小松 裕伸

2024年は、消費税インボイス制度、定額減税など本業とは直接関係ないことへの対応が
ありましたが、あらためて基本に戻り決算対策を考えていきたいと思えます。
今回、決算対策のポイントとなる項目をまとめました。

①人件費関連

- ・給料の見直し、決算賞与の支払い
税制面において法人税額の特別控除を受けることができます。

給与等の支給額が増加した場合の法人税額の特別控除

中小企業者等が雇用者の給与等を増加させると、一定の要件を満たせば
その増加額の15%相当額の法人税額が控除できます。



②経費関連

- ・30万円未満の資産の購入
税制面において年間300万円まで損金算入できます。

中小企業者等の少額減価償却資産の取得価額の損金算入の特例

中小企業者等が取得価額30万円未満の減価償却資産の取得金額を損金算入することができます。

- ・生命保険の加入
- ・修繕の前倒し実施
- ・交際費の支出
税制面において資本金1億円以下の法人については年間800万円以下の交際費は損金算入が認められています。

③固定資産・棚卸資産関連

- ・固定資産の購入
税制面において特別償却または法人税額の特別控除を受けることができます。

中小企業投資促進税制(中小企業者等が機械等を取得した場合の特別償却または税額控除)

中小企業者等が新品の機械装置など取得、事業の用に供した場合において、特別償却(取得価額の30%)または税額控除(取得価額に7%)を認めるものです。

- ・不要な固定資産の売却、除却
- ・不良在庫の廃棄



相談対応の様子。ぜひお気軽にご相談ください。

各税制の詳細、中小事業者等の定義については国税庁のホームページをご確認ください。
国税庁はこちらから <https://www.nta.go.jp/>

経営総合相談課 総合相談窓口 TEL 045 (633) 5200 E-mail: soudan@kipc.or.jp

現地情報

「中国のシリコンバレー」 深センで県内企業をPR！

KIPブースに県内企業4社が共同出展

大連・神奈川経済貿易事務所 戸ヶ里 庸介
県 企業誘致・国際ビジネス課 TEL 045 (210) 5565

「中国のシリコンバレー」として注目の広東省・深セン市は、自動車メーカーのBYDや通信機器大手のHUAWEI（ファーウェイ）といった中国のハイテク企業の本社所在地として知られています。

大連・神奈川経済貿易事務所では、2024年11月6日（水）から8日（金）にかけて同市で開催された産業展示会「FBC深センin NEPCON電子生産設備展」にKIPブースを設置し、県内企業4社の共同出展をサポートしました。

■ 半導体製造装置の冷却水配管効率化を提案（リガルジョイント）

株式会社リガルジョイント（相模原市）は、半導体の製造工程で必要な冷却水の配管や複数の流量計をコンパクトにした集合配管（マジック・マニホールド）を展示しました。同社の井上幸太新規開拓統括からは、「深センは初出展だったが製造業の関係者も多く手応えを感じた。また現地販売店も積極的に商品説明を行ってくれたので、今後も中国市場に向け自社製品を供給していきたい」と感想をいただきました。

■ 高いメンテナンス性やカスタム設計をPR（アイテックシステム）

株式会社アイテックシステム（横浜市）は、検査・画像処理用LED照明装置などを展示しました。同社の森澤崇成取締役からは、「会期中、複数社から現地代理店としての取引について問い合わせがあった。また、来場者からデモ機を購入したいといった声もあり、中国市場でのニーズを知ることができた」と出展の手応えを聞くことができました。

3日間の会期で約6万4千人（主催者発表）が来場し、盛況な展示会となりました。県やKIPでは、中国での事業展開を検討している県内中小企業の皆さまに向け、さまざまな支援策を用意しています。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。



展示会場外観



リガルジョイント社ブース



アイテックシステム社ブース

大連・神奈川経済貿易事務所では、県やジェトロ横浜などと連携して、県内企業の中国進出や販路開拓の支援、中国企業の県内誘致、県の観光PRなどを行っています。電話、メールだけでなく、オンラインミーティングでの相談も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

女性活躍

「神奈川なでしこブランド2025」認定商品等を決定！

女性が開発に貢献した優れた商品

県 雇用労政課 TEL 045 (210) 5867

県では、女性の活躍を応援するため、女性が開発に貢献した優れた商品を認定する「神奈川なでしこブランド」、商品に関する優れたアイデアを認定する「なでしこの芽」の事業を実施しています。このたび、「神奈川なでしこブランド2025」を10件、「なでしこの芽」を1件認定しました。2月1日（土）に、マークイズみなとみらいで認定式を開催し、商品の開発に貢献した女性へ認定証を贈呈しました。



食料品・飲料（3件）

名 称	事業所名
「楽ベジペースト」シリーズ	楽ベジstyle
ぎいちゃん	株式会社まめいど
伊達巻スイーツ	鈴廣かまぼこ株式会社

生活・文化用品（5件）

名 称	事業所名
Moshimo Japan	フジケース株式会社
やどりき 森のかおり ロウバイルームスプレー	株式会社DASI
横浜市金沢区ご当地かるた「カナかる！」(第2版)	「カナかる」企画・運営チーム
片浦レモンハンドクリーム	江之浦果樹園maruesu
BIG Foot ステイブルカップホルダー	有限会社部土木

サービス（2件）

名 称	事業所名
AsobiSTEAM	日本乳幼児遊び教育協会
湘南たべまな便	こどもおりょうりラボ株式会社

なでしこの芽（1件）

名 称	アイデアの概要
地域共生型 認知症たすけあいカードゲーム	認知症になった住民の「困りごとカード」と、その解決を手助けする住民の「お助けカード」を使って住民同士の助け合いを体験できるカードゲーム。認知症の方にも優しい地域共生型まちづくりのツールとして商品化を目指すアイデア。



認定商品



認定式

融 資



生産性向上による経営力強化に取り組む中小企業の皆さまへ

生産性向上のための資金調達を支援します

県 金融課 TEL 045 (210) 5695

生産性向上支援融資

■ ご利用いただける方

次のいずれかに該当する中小企業者等 (NPO法人、医療法人を除く)

- ① 経営力向上計画について国の認定を受け実行する
- ② 先端設備等導入計画について市町村の認定を受け実行する
- ③ ①および②に加え、生産効率向上設備の導入により省エネ効果が見込まれる事業計画について取扱金融機関の確認を受けた

■ 資金使途

運転・設備 (③の場合、運転資金は設備設置に係る経費に限る)

■ 融資限度額 8,000万円 (別枠)

■ 融資利率 (固定)

- ①②：年 1.8%以内
- ③：年1.6%以内 ※2025年3月時点

■ 融資期間

運転資金：10年以内 設備資金：15年以内
(①②は据え置き1年以内、③は据え置き2年以内)

■ 信用保証料率 0.34%

■ 申し込み

県制度融資取扱金融機関へ直接お申し込みください。

詳しくは県のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m6c/cnt/f5782/p1064137.html>

経営革新



経営革新計画のご案内

経営革新計画の電子申請を開始します

神奈川 経営革新計画 検索

県 かながわ中小企業成長支援ステーション (中小企業支援課 海老名駐在事務所) TEL 046 (235) 5620

経営革新計画は新商品・サービスの開発、新たな生産・販売方式の導入など、特定事業者が行う新たな取組について、「経営革新計画」を作成していただき、知事の承認を受けると、計画期間中、政府系金融機関による低利融資や信用保証の特例などの支援メニューの利用が可能となります。

本県では2024年5月に申請様式を簡素化しましたが、3月18日(火)からは電子申請での受付を開始します。詳しくは県のホームページをご確認ください。

かながわ中小企業成長支援ステーションの移転について

かながわ中小企業成長支援ステーションは、3月17日(月)より、本庁舎2階(横浜市中区日本大通1)に事務所を移転します。

技能検定



令和7年度前期技能検定のご案内

働く人の技能習得意欲の増進

神奈川県職業能力開発協会 TEL 045 (319) 4586
県 産業人材課 TEL 045 (210) 5720

■ 申請受付期間

4月7日(月)~18日(金) 必着

■ 受検申請書用紙配布場所

神奈川県職業能力開発協会、県立産業技術短期大学校、県立東部・西部総合職業技術校、神奈川県障害者職業能力開発校、各地域県政情報コーナーなどで、3月上旬から配布
受検案内については、神奈川県職業能力開発協会のホームページ (<https://www.kan-nokaikyo.or.jp/>) にも3月上旬から掲載



表 彰



地域経済を支える優良工場を表彰！

令和6年度神奈川県優良工場表彰

県 中小企業支援課 TEL 045 (210) 5556

県では、県内に立地し、製造業を営む中小企業の工場のうち、生産技術、経営成績、作業環境などが特に優れており、労働災害や公害の発生防止、環境関連手続の遵守などに取り組んでいる工場を、神奈川県優良工場として表彰しています。1958年度にこの表彰制度を制定してから、今年度を含め766工場を表彰しています。

1月27日(月)に、神奈川県庁本庁舎4階正庁で表彰式が開催され、7工場の代表者の方へ黒岩知事から表彰状と県章入りの盾が手渡されました。

神奈川県優良工場表彰工場(7工場)

	工場名	工場所在地	主要製品、事業内容
1	有限会社飯室商店 本社工場	綾瀬市	ガラス原料(カレット)製造
2	関東化成工業株式会社	横須賀市	樹脂製品、金属製品、機能めっき製品
3	株式会社シーエス工業	平塚市	プリント基板の組み立ておよび製造
4	株式会社セイミツ 平塚工場	平塚市	ディーゼルエンジン部品インジェクターボデー
5	株式会社東鈴紙器	相模原市中央区	段ボール製函紙器一式、包装資材、段ボール家具
6	溝口工業株式会社	綾瀬市	医療機器・計測機器向け精密板金加工部品
7	有限会社山下钣金工業	高座郡寒川町	鉄道車両板金加工 自動車部品試作板金加工

なお、優良工場は優良工場表彰を受けてから、4カ年度経過すると、かながわ中小企業モデル工場の指定推薦を受ける資格が得られます。



表彰式の様子



表彰状と盾の授与



集合写真

ロボット産業

ロボットの開発参入や導入を支援します

さがみロボット産業特区の取組



県 産業振興課 TEL 045 (210) 5652

県では、中小企業のロボット産業への参入支援と、生活支援ロボットの社会実装の加速化を重点的に進めています。

ロボット企業交流拠点(橋本駅近隣「FUN+TECH LABO」と藤沢駅近隣「ロボリンク」)を設置し、ロボット企業や部品製造企業、大学等が利用できる交流スペースを活用して、関係者のネットワーク形成を促進します。ロボリンク(藤沢)にはショールームも併設して生活支援ロボットの普及を促進します。

また、業務効率化や人手不足などの課題を、ロボット実装促進センターが解決します。

デジタル化の相談から、国や県のロボットに関する補助金の利用に際しての事前相談なども無料で受け付けますので、ぜひご相談ください。



ロボット実装促進センター(電話・メール相談)



橋本駅近隣「FUN+TECH LABO」



藤沢駅近隣「ロボリンク」

ロボット導入施策パッケージのご案内

人手不足を乗り越えるためのロボット導入支援

関東経済産業局では、中堅・中小企業のロボット導入を推進するための各種支援策を段階別に整理した施策集として、「ロボット導入施策パッケージ」を公開しましたので、ぜひご活用ください!

ロボット導入の流れを知りたい



支援メニューの例

ツール ロボット導入サポートブック

神奈川県では、ロボットの実装に意欲的な神奈川県内施設で実施したロボット導入実証の成果を基に、ロボットの導入を支援する「ロボット導入サポートブック」を公開しています。本書では、県で実際に行った清掃、配膳、運搬、案内ロボット等の導入に向けた手順や、期待される効果などをまとめています。

- 実施機関
神奈川県産業労働局産業部産業振興課
- URL
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sr4/jisso.html>



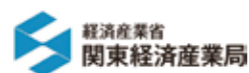
研修 ロボット入門講座

ロボットシステムの導入をお考えの経営者や事業責任者を対象に、ロボット導入のポイントをまとめた動画コンテンツです。ロボットシステムで業務をどの程度効率化できるのか?どれくらいのコストがかかるのか?導入を成功させるポイントは?など、事例を交えて説明しています。

- 実施機関
一般社団法人日本ロボットシステムインテグレータ協会
- URL
<https://www.jarsia.jp/robot-intro/>



下記URLまたは左のQRコードよりダウンロード可能です。ロボット導入施策パッケージ
https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/iot_robot/digital_dx/dx-robot_package.html



関東経済産業局地域経済部デジタル経済課
TEL 048 (600) 0284 (直通)

5年連続満足度90%超!よろず支援拠点の



誰でもできる ちよつとした 支援のコツ

2023年度利用者満足度94.1%と高い事業者さま満足度を得ている神奈川県よろず支援拠点のご支援。コーディネーターたちが、支援の“手の内”お見せします。

Vol. 20

今月のオススメ支援手法

強みの再認識支援 経営資源の活用状況を数値化して自社の強みを見直そう!

各種原材料値上げや賃上げが続く中、コスト上昇に打ち勝つ工夫を検討されるご相談が増えています。

人材、機器・設備、資金、情報など、自社で保有している経営資源の能力を高め、また新たな機能を加えることにより、自社の強みを強化していくことが1つの対応策となります。

自社の強みを知る方法の1つとして、経営資源の活用状況を把握することが有効です。このとき、数値化することが重要になります。多くの経営者の方は直感的に理解されていますが、数字で表すことにより他の方も理解できるようになり、また将来の目標設定等にも役立ちます。

さて、現在、自社の経営資源がどの程度の売上や利益

を生み出しているのでしょうか。決算書類の情報を使って調べてみましょう。

売上では、従業員、機器・設備などの有形固定資産、全資産(総資本)を経営資源として選び、それぞれの経営資源当たりの稼いだ売上を計算します。また、店舗利用の場合は店舗面積、客席数(宿泊業では客室数)も加えます。

利益については、粗付加価値額*を使い、従業員1人当たりの粗付加価値額を計算します。

業界により傾向が異なるので、業界平均値と比較します。業界平均は日本政策金融公庫が公開している小企業の経営指標調査などが参考になります。

*粗付加価値額: 税引前当期純利益に人件費、減価償却費、支払利息割引料を加えた金額

経営資源の活用状況を示す主な指標

経営資源	経営指標	計算式	当社実績値	業界平均値
人材	従業員1人当たり売上高	売上高÷従業員数	〇〇〇〇〇〇	□□□□□□
	従業員1人当たりの粗付加価値額	粗付加価値額÷従業員数	〇〇〇〇〇〇	□□□□□□
機器・設備類(店舗など)	有形固定資産回転率(%)	売上高÷有形固定資産額×100	〇〇〇〇〇〇	□□□□□□
	3.3㎡当たりの売上高	売上高÷店舗面積÷3.3	〇〇〇〇〇〇	□□□□□□
	席数・客室数当たりの売上高	売上高÷席数・客室数	〇〇〇〇〇〇	□□□□□□
総資本(総資産)	総資本回転率(%)	売上高÷総資本×100	〇〇〇〇〇〇	□□□□□□

上記の数字から、業界平均値と比べて従業員が高い成果を上げている、設備が高稼働しているなどの結果が分かります。次に相談者の方とその要因を深掘りしていくと、決算書に直接表れない無形資産という強みが見つかります。事業を安定継続していくために、特に無形資産を増やしていくことが重要です。

“手の内”紹介者
小田原サテライト 片桐 新悟 コーディネーター

今回は経営状況の「見える化」方法の一部をご紹介します。企業の目指す方向性を決めて経営資源を強化していく中で、無形資産が作られます。それは企業ごとに異なり、自社ブランドの基となります。自社独自の自社ブランドを育てていきましょう。



神奈川県よろず支援拠点 TEL 045(633)5071

経営相談事例

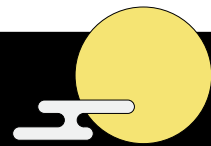
KIPみんなの相談室

【自動車部品サプライヤーのEV化支援】



中小企業診断士
きっぷ姫

相模の国出身。中小企業者のお悩みに寄り添い、年間600件の相談に当たる。好きな言葉は「秘密厳守」



今月の相談者

製造業

(資本金4,000万円、従業員30名)

かながわ自動車部品
サプライヤー支援センター TEL 045 (633) 5062

自動車部品のEV化の対応はどこに相談したら良いのでしょうか？

【相談内容】

製造業A社は、自動車部品のエンジン関連部品を手掛けるサプライヤーですが、EV化による部品点数の減少により、主力製品であるエンジン関連部品の売り上げ減少が見込まれます。数年前から、EV化に向けて、業態転換の必要性を感じ、EV化に関する情報を収集していますが、従来業務の対応等により、取組を推進できていません。どこに相談すれば良いのでしょうか。

【姫の所見】

かながわ自動車部品サプライヤー支援センターでは、3名のコーディネーターが、中堅・中小自動車部品サプライヤーが抱える課題の洗い出しや今後の方向性など、さまざまなアドバイスを行っています。また、必要に応じて専門家を派遣し、クロスSWOT分析による自社の強み分析や営業ツールとなるPR資料作成等、利用者の要望、ニーズを的確に捉え、販路開拓にもつなげています。その

他、OEMやTier1の工場見学会、事業再構築のために必要な技術や経営情報を中心としたセミナーなども開催しています。この機会にぜひお問い合わせください。



中小企業への技術支援

(地独) 神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC) では、公設の試験研究機関として、皆さまの抱える技術的課題の相談をお受けし、ご相談内容に応じて、具体的な支援メニューをご提案します。今回は機器使用についてご案内します。

3Dデジタイザ

高品質な3Dデータを簡単に素早く取得 **〈新規導入機器〉**



■概要

物体の表面座標を μm から mm の精度でデジタル化する装置です。本体には投影装置とステレオカメラが組み込まれており、投影装置が物体表面に、しま模様などのパターンを投射します。その映像をステレオカメラで立体視することで、表面を点群データに変換し、各点の3次元座標を取得します。このデータを基に、寸法や形状を正確に評価することが可能です。

■用途・特徴

- ・ 1600万画素の高分解能測定
 - ・ 回転テーブルとの組み合わせによる半自動測定
 - ・ カメラレンズを交換することで試料の大きさや精度に合わせた測定
 - ・ 比較検査やリバースエンジニアリング
 - ・ 工業デザイン、医療、教育、エンターテインメントなど幅広い分野で利用可能
- 3Dデジタイザの詳細やご相談については、ぜひお気軽にお問い合わせください。



3Dデジタイザ FLARE Pro 16M



公益財団法人JKAによる2024年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業を受けて導入しました。

技術相談はコチラ▶



問い合わせ先 (地独) 神奈川県立産業技術総合研究所 情報・生産技術部システム技術グループ
海老名市下今泉705-1 TEL 046 (236) 1500 (代表)

<https://www.kistec.jp/connect/consult/>



テクニカルショウヨコハマ2025の会場にて、直接出展者の方や来場者の方のお話を伺うことができました。早く取材に応えてくださった皆さまありがとうございます。(かちさ)

編集／発行

公益財団法人 神奈川県産業振興センター (KIP)

Kanagawa Industrial Promotion Center

横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル

TEL 045 (633) 5101 FAX 045 (633) 5018

サボかなは、ユニバーサルデザインに配慮して作成しています

KIPは、
かながわSDGsパートナーです

